

第8回大阪地区渋滞対策協議会

【大阪地区渋滞対策協議会の経緯及び進捗状況】

令和2年2月14日

1. 大阪地区渋滞対策協議会開催の流れ

大阪府域における渋滞対策の経緯

○平成24年7月10日 京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会発足

- 「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 交通観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細に係るデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること

関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な渋滞対策の推進を図ることを目的として協議会を設置

「主要渋滞箇所の特定」に向けて京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会を3回実施

※大阪府域は、全域が京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会の検討範囲に含まれていることから、京阪神圏の共通課題として京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会において審議。(兵庫県、京都府の一般道は別途協議会で審議)

○平成25年2月15日 主要渋滞箇所を公表(大阪府域の一般道 6エリア、29区間、327箇所、京阪神圏の高速道路 39箇所)

○平成25年8月30日 第4回京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会開催

「京阪神圏の対象となる京都府、大阪府、兵庫県では、府県を跨ぐ規模の渋滞が一般道では発生していない」

■一般道においては、府県を跨ぐ規模の渋滞(共通課題)が発生していない

■各府県の渋滞箇所の要因分析等を、京阪神圏渋滞ボトルネック対策協議会で議論するのは非効率

今後、大阪府域内における渋滞要因分析等については、大阪地区渋滞対策協議会で議論

- 平成26年1月24日 第1回 大阪地区渋滞対策協議会 <大阪府全体における渋滞対策の基本方針(案)とりまとめ>
- 平成27年8月27日 第2回 大阪地区渋滞対策協議会 <主要渋滞箇所のモニタリング・対策効果検証、対策実施事例の紹介>
- 平成28年7月27日 第3回 大阪地区渋滞対策協議会 <主要渋滞箇所のモニタリング・対策効果検証、対策未検討箇所の進め方>
- 平成29年8月 4日 第4回 大阪地区渋滞対策協議会 <主要渋滞箇所のモニタリング・対策効果検証、再確認・整理(案)、対策未検討箇所の進め方>
- 平成30年8月 6日 第5回 大阪地区渋滞対策協議会 <主要渋滞箇所のモニタリング・対策効果検証、解除候補箇所(案)、対策検討箇所の検討方針>
- 平成31年3月 第6回 大阪地区渋滞対策協議会 <対策の進捗状況の報告、対策実施事例の紹介>
- 令和元年8月 6日 第7回 大阪地区渋滞対策協議会 <主要渋滞箇所のモニタリング・対策効果検証、解除候補箇所(案)、対策検討箇所の検討方針>

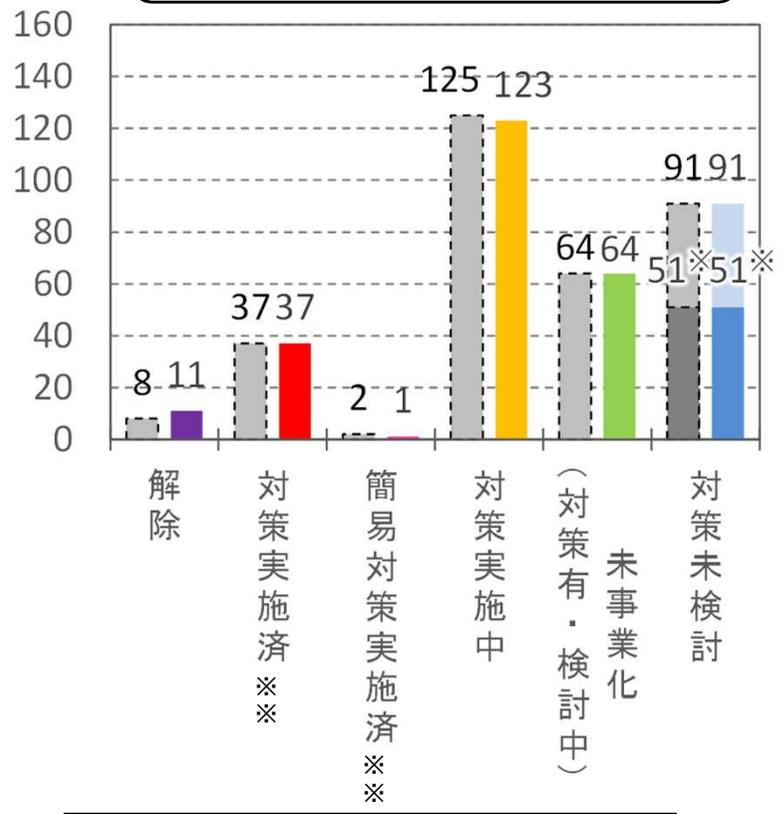
2. 主要渋滞箇所への対策進捗状況

1) 主要渋滞箇所の渋滞を解消・緩和する見込みの対策実施状況

▶大阪地区では、当初選定された327箇所のうち、最新の旅行速度データや交通実態調査の結果に基づき、渋滞緩和が確認された「<踏切>近鉄奈良線若江岩田第1号」、「モール北交差点」、「寿町1交差点」、「川西南交差点」、「戎町交差点」、「富田丘町交差点」、「池上町交差点」、「荒木町交差点」、「寝屋東交差点」、「みのり橋南交差点」、「土生町2丁目交差点」の11箇所が、大阪地区渋滞対策協議会での審議を経て、解除となった。

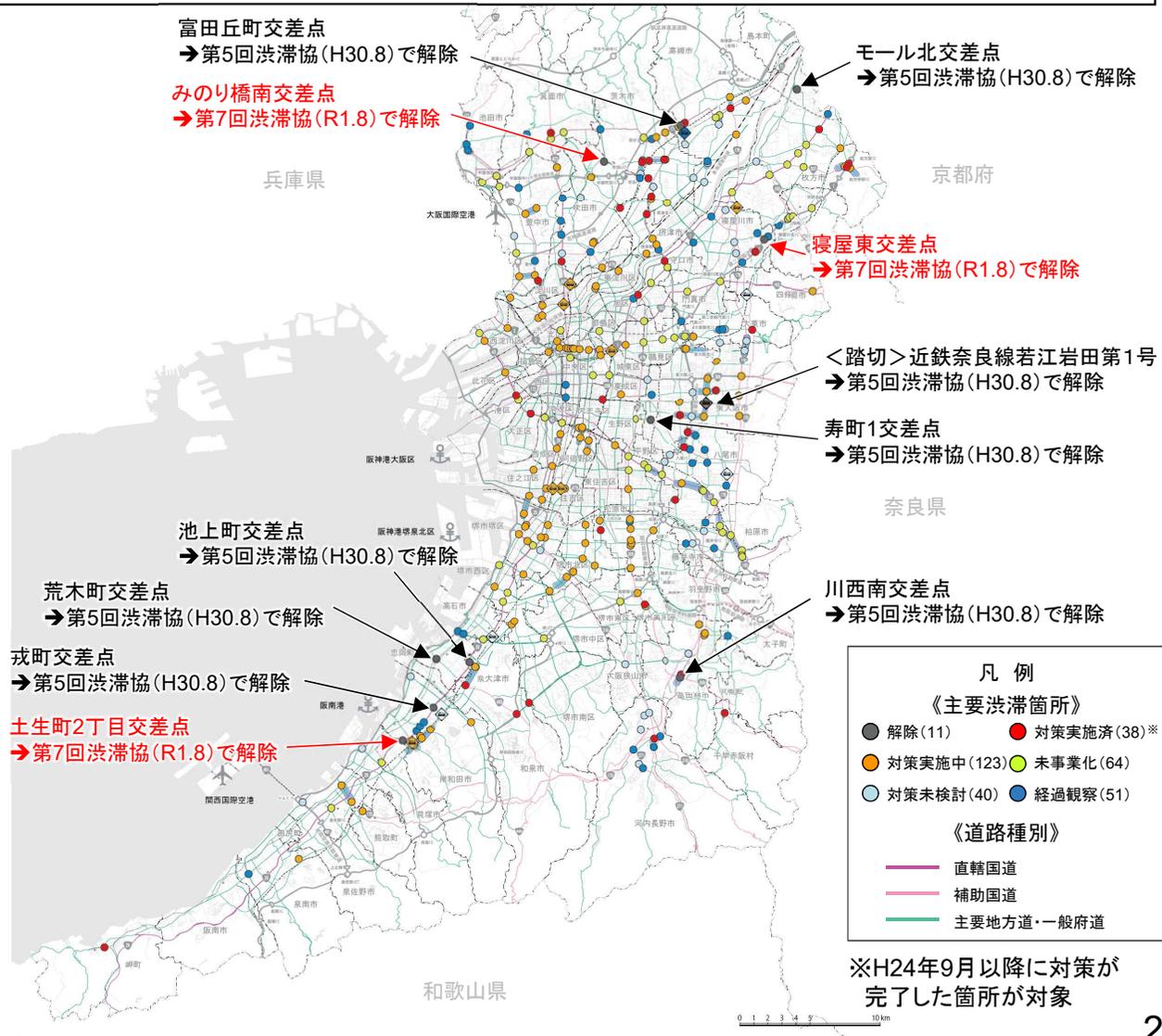
▶残る316箇所のうち、37箇所では渋滞解消・緩和が見込まれる対策、1箇所では区画線見直し等による簡易対策が実施済みであり、今後は効果評価等を実施して継続的に監視していくとともに、対策実施中箇所(123箇所)、未事業化箇所(64箇所)については、関係機関との連携の下で対策事業を推進する。

大阪地区主要渋滞箇所数
327箇所⇒**316箇所(11箇所解除)**



■: R1.8(第7回渋滞協)時点の対策実施状況
■: 最新データ等に基づく経過観察箇所※

※経過観察箇所: 信号待ち回数が1回以下など、渋滞が軽微である箇所
※※H24年9月以降に対策が完了した箇所を対象



凡例

《主要渋滞箇所》

- 解除(11)
- 対策実施済(38)※
- 対策実施中(123)
- 未事業化(64)
- 対策未検討(40)
- 経過観察(51)

《道路種別》

- 直轄国道
- 補助国道
- 主要地方道・一般府道

※H24年9月以降に対策が完了した箇所を対象

2. 主要渋滞箇所への対策進捗状況

2) 地域別の対策進捗状況 (R2.1末時点)

- ▶ 地域ごとの対策進捗状況を見ると、対策実施済箇所の割合が高いのは、三島地域(24%)、北河内地域(15%)、中河内地域、南河内地域(12%)である。
- ▶ また、解除、対策実施済、対策実施中を合わせた割合では、大阪都心地域(大阪市)、泉北地域が約70%と高くなっている。
- ▶ 今後も、対策未検討箇所の対策検討や、渋滞対策の事業化、対策実施中箇所の事業完了を目指し、鋭意事業推進していく。

エリア・地域図	地域		主要渋滞箇所数 (割合)	解除	対策実施済	対策実施中	未事業化	対策未検討	経過観察	
	大分類	中分類								
	大阪北部エリア	豊能地域	21 (100%)	0 (0%)	2 (10%)	5 (24%)	7 (33%)	1 (5%)	6 (29%)	
		三島地域	50 (100%)	2 (4%)	12 (24%)	13 (26%)	4 (8%)	9 (18%)	10 (20%)	
	大阪中部エリア	大阪都心地域(大阪市)	71 (100%)	0 (0%)	3 (4%)	46 (65%)	19 (27%)	0 (0%)	3 (4%)	
		北河内	47 (100%)	2 (4%)	7 (15%)	6 (13%)	14 (30%)	8 (17%)	10 (21%)	
		中河内	43 (100%)	2 (5%)	5 (12%)	11 (26%)	10 (23%)	7 (16%)	8 (19%)	
	大阪南部エリア	南河内	33 (100%)	1 (3%)	4 (12%)	11 (33%)	0 (0%)	9 (27%)	8 (24%)	
		泉北	39 (100%)	2 (5%)	4 (10%)	21 (54%)	8 (21%)	2 (5%)	2 (5%)	
		泉南	23 (100%)	2 (9%)	1 (4%)	10 (43%)	2 (9%)	4 (17%)	4 (17%)	
	合計			327 (100%)	11 (3%)	38 (12%)	123 (38%)	64 (20%)	40 (12%)	51 (16%)

